

大分県PTA



はぐく美

発行所
大分市大字下郡496-38
大分県教育会館2F
大分県PTA連合会
☎(097)556-9055
責任者
山田 弘 樹
印刷所
大分市下郡3154の22
九州凸版印刷株式会社



大分県PTA連合会 定期総会

第75回 定期総会
子どもたちの未来のために

令和5年度大分県PTA連合会定期総会が6月2日、森山貴仁県教育庁社会教育課長をはじめとする来賓を迎え、県下16郡市等P連・育友会の代表者と被表彰者を含む約100名が出席して県教育会館で開催された。

はじめに、山田弘樹県P連会長があいさつ。冒頭で本総会で表彰される団体・個人らに感謝の意を伝えた。「3年以上にわたるコロナ禍が、子どもたちの心身に与えた影響は計り知れない。いじめ問題、不登校、児童虐待、ヤングケアラー、貧困の問題等、子どもたちを取り巻く環境はより厳しさを増している。このような状況の中、すべての子どもを取り残すことなく施策の対象として支援していくため『子ども家庭庁』が発足。『子どもまんなか社会』を目指し、各府省庁に横断的にまたがる幅広い課題に対応していくことが期待される。PTAとしても子どもたちの安全・安心のために『子育ての基盤は家庭にある』との基本に立ち返りながら、学校・地域を結び架け橋として、子どもたちの育ちを支える環境づくりにより一層取り組む必要がある。社会が大きく変動する中、PTAに対する考え方、教員の働き方改革等PTAを取り巻く環境も変わりつつある。県P連はこれまでの成果をふまえ、各郡市等P連・育友会の皆さ

一歩一歩着実に

また共に各地域や学校の特徴に応じたPTA活動を着実に進めていく」と話した。

連携の要として

続いて、PTA活動に貢献した杵築市立豊洋小学校奨学会ほか3団体と芝尾文徳県P連副会長をはじめとする個人14名に表彰状、1名に感謝状が贈られた。次に森山貴仁県教育庁社会教育課長の来賓祝辞があった。

森山課長は「県教育委員会で、『教育県大分』創造プラン2016のもと、『芯の通った学校組織』を基盤にした教育水準の向上に向けて、授業改善の



総会に出席した16郡市等P連・育友会の代表者ら

2~3 大分県PTA広報コンク
広報紙コンクール
受賞広報紙紹介

3 県P連幹部研修会

令和5年度の役員紹介

Table listing PTA officers: 会長 (山田 弘樹), 副会長 (御幡 雅章), 理事 (水江 泰彦, 森 惠, etc.), 監査委員 (和田 純一, 曾宮 康生, etc.), 事務局 (野寄 孝典).



山田会長と被表彰者のみなさん

確保等、活用を広げるための取組を進めている。また、科学・工学、芸術等の幅広い分野に関心を抱かせる取組にも注力。探究的な力をはぐくむ学習機会の創出にも努める。現在、学校が家庭や地域と協働して子どもの学びを充実させる『地域学校協働活動』の体制づくりが進められている。県P連の皆さまには、家庭・学校・地域をつなぐ組織として、支援していただいたことと祝辞を述べた。

課題と向き合う

議事に入り、令和4年度会務報告・活動の成果と課題・収支決算報告・監査報

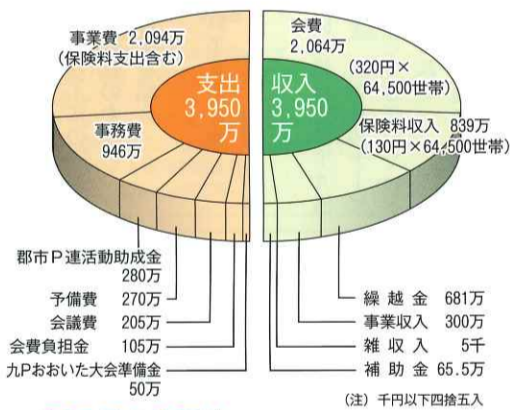
令和5年度の主な行事予定

- 第71回日本PTA 全国研究大会 広島大会 8月25日(金)~26日(土)
第68回日本PTA 九州ブロック研究大会 佐賀大会 10月28日(土)~29日(日)
教育問題懇談会 11月15日(水)
県PTA指定研究発表会 (令和4・5年度) 11月25日(土)
第32回県PTA研究大会 宇佐市大会 1月28日(日)
第47回広報紙コンクール 審査会 2月27日(火) 表彰式 3月19日(火)

公園や路地裏から子ども達の声が絶えず聞こえてくる。以前は子ども達の自由な時間と空間が地域社会の中にあり、遊びの集団が存在していた。最近では、大半の子ども達は部屋に籠もりテレビやゲームに興じている。遊び集団の中で生き生きとした体験を持っていない子ども達は、果籠り状態である。イギリスの動物学者アズモンド・モリスは「遊びはそれが目的ではないが、ポーンズとして創造力の開発をもたらす」と言う。遊ばない子ども達の未来に何が待ち受けているのか、創造力の枯渇した日本の姿が見えてくるような気がする。また「子どもとあそび」の著者仙田満は「子どもの遊びの環境には、子どもの遊びの時間・空間・集団・方法の四つがあり、そのどれが欠けても子ども達の遊びは成立しない」と述べている。▼子ども達の遊びの空間が少なくなり、今では家の中の遊びが圧倒的に多くなっている。外遊びの少なくなった要因を考えてみると、一つは子ども達が塾やお稽古事で忙しく、一緒に遊べる時間が少なくなること、一つはテレビやゲームの遊びの方が外遊びに比べ魅力的になってしまったことだ。気の弱い子や内気な子どもにとっては、外遊びや集団での遊びは苦痛である。昔は仲間ができれば遊べなかった。遊びの仲間に入らうと必死に努力をした。そうすることで自分を強くし協調することを学んだ。▼遊びは創造力の開発をもたらすこと。「子ども達は遊びを通じて自立することを学び、自主性を育てていく存在であること」を、今一度、心しておきたいものである。

小野 京子

令和5年度一般会計予算



県PTA会費は

一世帯あたり450円で、単位PTAごとに一括納入となっています。320円が県P会費。約130円はPTA安全補償制度の保険料です。

見る人をひきつける

受賞広報紙紹介

大分県知事賞受賞



ほふふ
大分市立豊府小学校PTA

第46回大分県PTA広報紙コンクールの審査会が、2月21日に県教育会館で開催された。県内の小・中学校PTA・育友会から72点の応募があり、26点が受賞した。その中から高評価を得た6校の受賞ポイントを紹介。

各号1面には最近のトピックスや保護者の関心事について掲載。広報紙本来の目的であるPTA活動を中心とした紙面づくりが素晴らしい!

広報紙を通じて繋がる

広報紙コンクールの審査に携わった審査員の中から、2名の審査評価を紹介。

大分県PTA連合会
会長 山田 弘樹

PTA広報紙は、PTA活動のテーマ、広報紙のテーマが年間を通して息づいていることが求められる。今年度は、保護者の興味・関心を引きつける視点で構成され、読み応えのある広報紙が年間で話し合える話題性のある広報紙であった。地域との「つながり」を深め、PTA活動の取組に生かした広報紙などが見られた。

コロナ禍で広報部活動が縮小傾向にある中、各単Pとも大変がんばって取り組んでいただいたことに感謝する。

審査委員長
「はぐく美」顧問 岩尾 淳一

「読んでもらえる紙面づくり」を目指して作られた広報紙を前に、その中に潜んでいる編集者の意気込みや熱気を胸に置き、審査を終えた。広報紙の本来の機能を踏まえて作成された紙面。そこはさまざまな異なる条件のもと、優秀を競うというよりも、持ち味を生かした「ホット」とさせられる紙面に注目した。

校報紙か広報紙か、レイアウトと見出し、写真の載せ方を話題にして温かさを広報紙から広めていってみませんか。

〈広報紙審査のポイント〉
・年間編集テーマを決め、シリーズものに挑戦している
・問題提起を心がけている
・面の特色を出している
・見出し等を使ってすっきり
・記事と写真の割合は6対4

第46回大分県PTA広報紙コンクール入賞PTA

県知事賞 「ほふふ」 豊府小(大分市)	県小学校長会長賞 「あけの西」 明野西小(大分市)
県PTA連合会長賞 「まてばしい」 下郡小(大分市) 「つるみ」 鶴見小(別府市) 「むつみ」 荏隈小(大分市) 「はるき川」 春木川小(別府市) 「育友会報 威宜」 威宜小(日田市)	県中学校長会長賞 「よしの」 吉野中(大分市) 大分合同新聞社賞 「明丘新報」 明治小(大分市) OBS賞 「あすなる」 大東中(大分市) TOSテレビ大分賞 「たじり」 田尻小(大分市) 大分ケーブルテレコム賞 「さいき城南」 佐伯城南中(佐伯市) OAB賞 「西の轍」 別府西中(別府市)
県議会議長賞 「おおやま・紙飛行」 大山小中(日田市)	県教育長賞 「あおがき」 大分大学教育学部附属中(大分市) 「だのはる」 大分大学教育学部附属小(大分市)

優良賞(順不同)

桃園小 三隈中 野津原中 明野中 東植田小 南大分小 南部中 上野ヶ丘中 大明小中 北山田小
※「PTA」「育友会」などの名称は省略

広報紙コンクール表彰式 3月14日



県知事賞受賞!豊府小Pの代表者らと山田県P連会長

表彰式は県教育会館で開催。来賓・受賞PTAの代表者約40名が出席し、各PTAに表彰状が贈られた。式では、始めに山田県P連会長があいさつ。続いて、森山貴仁県教育庁社会教育課課長が祝辞を述べた。来賓紹介の後、長野雄一郎県教育庁社会教育課指導主事、佐々木稔大分合同新聞社執行委員編集局副局長、山田弘樹県P連会長ら3名が、出品された広報紙について受賞のポイントを交えながら講評を行った。PTA広報紙には、活動

「おはようございます!」
「こ20年、私の朝は、この言葉から始まります。」
子どもたちや家族はもちろんご近所の方々、登校する児童・生徒、こども園の子どもたちや先生方等、多くのみなさんと「おはようございます」のあいさつを交わしながら私の一日は始まる。でも自分からあいさつするって、人によってはなかなか難しいと思う方も少なからずいらっしゃるのでは無いでしょうか?なぜなら私がそうだったから。



以前の私は引つ込み思案で人見知りな自分からすんであいさつをすること等という無理な性格でした。しかし結婚し子どもが生まれ親となり子どもとともに親として成長していく中で「子どもが前向きにひたむきに頑張っているのに、大人の私がこのままでいいのか?」と考え、自ら変わろうと決意し、意識的に自らあいさつをするように心がけてきました。そうすると不思議なことに、子どもたちも周りの大人の方々も私に対する接し方が変わり、今では子ども・家庭・学校・地域のことなど多くのご相談をいただくようになりました。そしてPTA役員に選出させていただき、その活動時にもみなさんで積極的にサポートしていただいています。
「おはようございます」のあいさつを続けて20年、自ら変わるうと小さなことから続けていけば、こんなにもうれしい楽しい日々が送れるようになりますと教えていただきました。
日田市連合育友会
会長 馬場 亮次

審査員

- 岩尾 淳一 (委員長)大分県PTA連合会「はぐく美」顧問
- 佐藤 洋一 大分合同新聞社編集局ニュース編集部編集委員
- 長野 雄一郎 大分県教育庁社会教育課指導主事
- 山田 弘樹 大分県PTA連合会会長 (敬称略)

尚、入賞紙のうち10紙が「全国小・中学校広報紙コンクール」に出品される。



2月21日に教育会館で行われた審査会の様子

第46回大分県PTA広報紙コンクール

76点 力作揃う

各記事の見出しが目に飛び込んでくるため読み手が興味をもった記事から読んでいける



日田市立成宜小学校校育友会



各地区のことをよく知る方の情報が詰まった危険マップは見やすい地図付きで紹介



大分市立在隈小学校保護者と教職員の会

PTAでの取り組みや会員の興味を引くだけでなく親子で考える機会を与える記事作り



大分市立下郡小学校PTA

まとめてばい

大分県PTA連合会長賞

はるき川 第2号



保護者の欲しい情報がうまくまとめられており情報量はとても多いが一気に読める

仕組みや目的をグラフィックと少しの文章で上手に伝えることでより理解が深まる工夫



つるみ

別府市立鶴見小学校PTA

お知らせ

☆第46回大分県PTA広報紙コンクール 優秀広報紙縮刷版

1冊700円で縮刷版を販売します。ご希望の方は、県P連事務局までお申し込みください。県内の各小・中・特別支援学校には郡市P連を通して1冊贈呈しました。大分県PTA連合会事務局 ☎(097) 556-9055



子どもたちの輝く笑顔のために



こんにちはPTA

初めてPTAに出会う方に「PTAってなに？」の答えやヒントを紹介するリーフレットです。小学校の新入生保護者に配布しています。

PTAのすゝめ

6つのキーワードに思いを込めて。小・中学校の新入生保護者に配布しています。

- 一、大人がやる あいさつの基本
- 二、子どもと遊び かけはき 伝ふる愛情
- 三、学校とともに生きる 信頼の絆
- 四、地域とつながり はぐくみ教育
- 五、みんなが「Yes」
- 六、PTAは「ボランティア」ではなく「子育て」

情報は共有し 連携を強める



研修内容に傾聴する県P連理事たち

本会は、県内16郡市等の県P連理事・事務局長ら幹部が一堂に会し、年に一回開催される。研修会を通して、リーダーとしての意識を高め合い、連帯感をもって活動していくことを目的としている。

理事会では、日P・九Pをはじめ、定期総会などの県P連各種行事についての報告や活動計画が示された。また、このあと行われる専門部会の懸案事項について、意見交換を行い共通理解を深めた。

専門部会では、各部が取り組む県P連の主要事業について確認、協議を行い、さらに充実した活動になるよう意見を交わした。各専門部の主な協議内容は次のとおり。

- 【教育部会】
 - ▽教育問題懇談会について
 - ▽県P連研究大会について
 - ▽「こんにちはPTA」の改訂について
- 【研修部会】
 - ▽全単位PTA会長研修会について
 - ▽指定研究事業について
 - ▽「PTAのすゝめ」の改訂について

令和5年度県P連幹部研修会

新しい社会へ 協働するPTAとは

県P連幹部研修会が6月15日、県教育会館で開催され、県内16郡市等P連・育友会から約40名が出席した。理事会、各専門部会、合同研修会が行われ、本年度の活動内容などの意思統一が図られた。



PTA活動の目的や在り方等を単P会長の立場から周知する際の補助となるものとして平成28年度から作成

理解を深め 賛同につなげる

合同研修会では、藤原正康(代理・平本泉)県P連副会長が講師となり、研修部が作成した日P・県Pの活動目的や特別委員会からの提言についてパワーポイントを使って研修。「学校単位で組織されるPTAは規模や地域により活動内容に違いがある。しかし昭和23年のPTA設立当初から、子どもたちの健やかな成長のために、家庭と学校、社会が力を合わせて努力していくことが大切だ」という活動理念は変わらない。その理念のもと全国にあるPTAが協議を重ね、時代の要請に応じて新たな活動を展開、国や県の教育改革に対し働きかけてきた。その成果は大きいと知られていない。任意加入や個人情報保護法等PTAを取り巻く環境が大きく変化する今、各単Pでの課題解決の一助として、各単Pに配布しているPTA会長研修資料も活用してほしいと話した。

令和4・5年度 指定研究発表PTA

学校紹介

指定研究は県P連の特色ある事業。指定を受けた県内の2単Pは、2年間にわたり特色あるPTA活動に取り組み、2年次に公開発表を行う。今年度の発表内容は「はぐく美348号」で紹介する。

大分市立 松岡小学校

本校は創立147年の伝統校で、校庭には大きな木が... 児童数は現在914名。明るく素直な子どもたちが... 保護者や地域の方も学校への理解があり、特に児童の体験活動には、積極的に参加して下さり、大変心強く思っています。

豊後大野市立 三重中学校

豊後大野市は、変化に富む自然や豊かな景観が数多く残り、時代の中で育まれ継承されてきた歴史や文化も豊かで奥深い市です。

本校は生徒数425名で、その多くが町内5つの小学校から入学してきます。素直で明るく、優しい生徒が多く、町内の人たちから感謝のお電話をいただくこともあります。

本校PTAは「できるひとが、できるときに、できることを」をテーマに活動しています。この度、指定研究PTAとして「広報誌のあり方を考える」を研究テーマに掲げ、今後の広報誌について、どのように作成し運用していくのか、検討を進めています。

「知を啓く・心を磨く・体を鍛える」という本校の校訓は約40年前に創られ、現在までその精神は脈々と受け継がれてきており、学習や運動、生徒会活動がとも盛んに行われています。本校のPTAは4つの専門部で活動しています。「ふるさとを愛し、心身ともにたくましく、未来を切り拓いていく力をもつた生徒の育成」をテーマに掲げ、その実現に向けて保護者・教職員・地域の方々が一つのチームとなつて、思いを共有し、子どもの育ちを応援し続けるというゴールに向けて頑張っています。

大分県PTA連合会指定研究事業

趣旨：望ましいPTAの在り方を追求し、健全な子どもの育成を目指す単位PTAに対して、2年間にわたり大分県PTA連合会がその研究を援助。今後のPTA活動の振興を図っている。

- 令和4・5年度 指定研究発表PTA：
①大分市立松岡小学校PTA
②豊後大野市立三重中学校PTA

研究事業発表会

開催日：令和5年11月25日(土)
場所：大分県教育会館 多目的ホール



令和4年度 日本PTA国内研修事業

沖縄県・渡嘉敷島 令和5年3/25~3/29



友だちの強み

臼杵市立西中学校2年 麻生 歩花

4泊5日の沖縄での研修は、私にとって全てがワクワクするような体験でした。私が一番印象に残っている活動は、国際交流プログラムです。この活動で地域課題の解決策について班のみんなと考えました。「少子高齢化を防ぐには、観光客を増やすには、空き家を減らすには」等の一つ一つの課題に対して、しんげんに向き合い解決策を探しました。この活動で感じたことは、話し合いの大切さです。正直自分ひとりでは考え方に限界があります。しかし、その限界を壊してくれるのは班のみんなです。他の人の意見を聞くことで、自分には思いつかなかった考え方を考えることができました。そして、よりよい解決策を考えることができました。これから国内研修で学んだことを活かし、学校生活や将来に役立てていきたいです。(学校・学年はP4当時)

大分県PTA連合会 学生・こども総合保険のご案内

(引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社)

大分県自転車条例

熱中症

突発的なケガ

ご心配な方へ!

お手続きはまだ間に合います!

スマホでかんたん 保険申し込み～口座の登録まで手続き!

保険にかかるお問合せ 事故に遭われた時のご連絡先

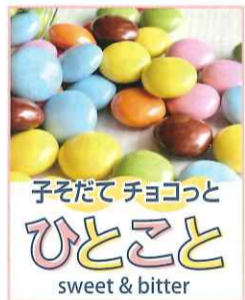
<取扱代理店>

東京海上日動パートナーズ九州 大分支店 大分支社

〒870-0839 大分県大分市金池南1丁目5番1 コレジオ大分2階

TEL: 0120-800-577 受付時間 平日9:00~17:00

詳細は大分県PTA連合会HP掲載の「東京海上日動 パンフレット」をご覧ください。



子どもでチョコっと ひとつ sweet & bitter

「ひとごと」

今、暮らしの中から、多くの「手仕事」が、失せているように見えて仕方がない。いつも通る生活道路に「工事中」の看板が立てられ、スコップやクワを持って作業をする方々の力強いエネルギーが...

が伝わって、たくましい。その脇に、戦車を思わせるような工事車が、にらみを利用させているように控えていた。その戦車は、キャタピラーを身につけていて、何人分の仕事をこなすのだろうか、想像するが、頭が混乱するばかりで、結論は出ないまま。科学技術の進展は、「人力」に取って代わって、重要な役目を担う立場を確実にしているように見えて、たのもし。 「人力」を機械に移し替えて、機械が人間に代わって、あなたも、人間がこなしたかのように見える風景が、あちこちと目に映ってくる。 今にはじまったことではないが、知れば知るほど、「人間智」に頭が下がってくる。 「智」には、知識だけでなく、人間の「生」が入っているように思えてくる。 「生きる」——これに向けた人間の取り組みは、「ひとごと」と、それを支える社会(全)。 「手仕事」は、一つひとつを大切にしながら、方向を見定め、ていねいに進めていく。 その「たゆまない動き」を「生きる喜び」に広げてみると、結びつきは、一層深まる。

一面「ラム欄は引き続き」「ときめき」です

筆者紹介

○元大分市立荏隈小学校校長 小野 京子

○大分大学教育学部 附属中学校学校評議員

○俳人協会会員

○著書 「ときめき」「いやしの百句」他

☆今年度の「はぐく美」編集スタッフを紹介します。

- 小原容子(編集長)
内田一恵
川野葉子
岩尾淳一(はぐく美顧問/チョコットコーナー担当)

※はぐく美編集委員を募集しています。詳細は左記事務局までお問い合わせください。 大分県PTA連合会事務局 ☎0971-561-0055

編集後記

七夕飾りに願いを書く季節。思えば子どもの頃の願いや夢は大きく壮大だった。無謀にも世界征服とか。今、口にする願いは非常に現実的。夢に向き合う時間をもとう。忙しさを言い訳にせず。(U)

▼4年ぶりの地区対抗ミニバレー大会。どの地区も数回の練習で当日を迎えたがコロナ禍も体育館が使えない間は毎週練習し続けた私の地区が見事初優勝。ついでに他の地区の闘争心に火をつけた。(K)
▼今春、息子が遠方の大学へ。音沙汰ないのは元気でやっている証と自分に言い聞かせ。一緒に暮らせる喜びを娘2人と感じながら、母も自分の道を見つめ直す。はぐくみという新たな出会いに感謝。(U)